

## — 絵金芝居絵屏風本格修理のご報告・2 —

## 《 芝居絵屏風の本格修理 実施中！ 》

絵金蔵に収蔵している高知県保護有形文化財に指定された芝居絵屏風 23 隻のうち、未修理の 18 隻における本格的な修理事業を実施しています。

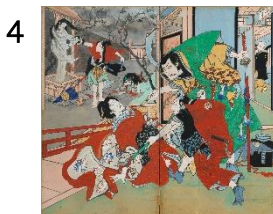
全 18 隻の大規模な事業となりますが、この修理を施すことにより祭りで町に芝居絵屏風を並べるといふ絵金文化を守ることができ、後世へ文化をつないでいくことができます。本事業は赤岡に残る芝居絵屏風を対象としたものではありませんが、県内には各地に絵金やその弟子らによる芝居絵作品が残され、祭りに展示されたり、保管されたりと大切に受け継がれてきています。今すぐこれらに対して最適な処置を施すことは難しいかもしれませんが、できることを少しずつ進めるための足掛かりとして、本事業が文化財の在り方を考えるきっかけになることを願っています。

◎以下の助成事業の対象となっています。

- ・文化財保護活動助成 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団
- ・美術品修復事業助成 / 公益財団法人 出光文化福祉財団
- ・文化財保存修復助成  
/ 公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

## - 2019 年度（1 年目）修理作品 -

1. 花衣いろは縁起 鷲の段（本町二区所蔵）
2. 伊達競阿国戯場 累（本町二区所蔵）
3. 東山桜荘子 佐倉宗吾子別れ（本町二区所蔵）
4. 播州皿屋敷 鉄山下屋敷（横町二区所蔵）



本格修理の工程 ▶▶▶

## 屏風装の解体（解装）



屏風の周囲に取り付けられた龔木《おそいぎ》と呼ばれる縁木や装飾金物等を取り外し、芝居絵が描かれている本紙が貼りこまれている下地（パネル）から慎重に剥がしていきます。

今回の修理で、屏風装を解体して下地から本紙を剥がすことにより、これまで過去の装幀において内部に折り込まれ隠れてしまっていた図様等を再度確認することができました。修理後に再度屏風装に仕立て直す際には、隠れていた図様も可能な限り出すように努め、作品本来の姿により近い状態を目指します。

今回の修理で、屏風装を解体して下地から本紙を剥がすことにより、これまで過去の装幀において内部に折り込まれ隠れてしまっていた図様等を再度確認することができました。修理後に再度屏風装に仕立て直す際には、隠れていた図様も可能な限り出すように努め、作品本来の姿により近い状態を目指します。

本格修理の工程 ▶▶▶

## 汚れの除去（ドライ）



下地から取り外された本紙は安定した板に仮固定（仮張り）し、刷毛や筆などを用い、本紙の表面に蓄積した経年による微塵類やカビ痕などの付着物を取り除きます。文化財修理に用いられる筆や刷毛は用途によって使い分けられ、平筆や筆先が 3 本連なった連筆《れんびつ》など様々な形状が用いられます。

この工程は乾燥状態で行われ、後の工程において文化財修理に適合させた濾過水（イオン交換水）を用いて水溶性の汚れ等を除去していきます。

汚れを除去する過程でのポイントのひとつとして、除去する汚れの見極めがあります。芝居絵屏風の場合、祭礼で飾られる際に本物の蠟燭で照らされていたため、ロウが飛び散った痕も多く見受けられます。これらを可能な限り除去するか、又は絵金文化の歴史としてそのままにしておくか、所蔵者の方々と相談しながら作品にとってより良い形を目指していくことが必要不可欠です。

汚れを除去する過程でのポイントのひとつとして、除去する汚れの見極めがあります。芝居絵屏風の場合、祭礼で飾られる際に本物の蠟燭で照らされていたため、ロウが飛び散った痕も多く見受けられます。これらを可能な限り除去するか、又は絵金文化の歴史としてそのままにしておくか、所蔵者の方々と相談しながら作品にとってより良い形を目指していくことが必要不可欠です。

（2019 年 8 月 絵金蔵）